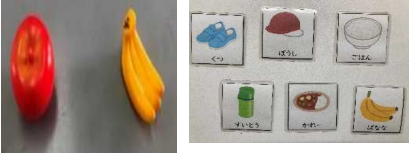

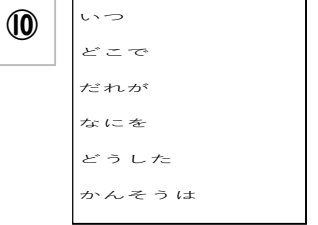




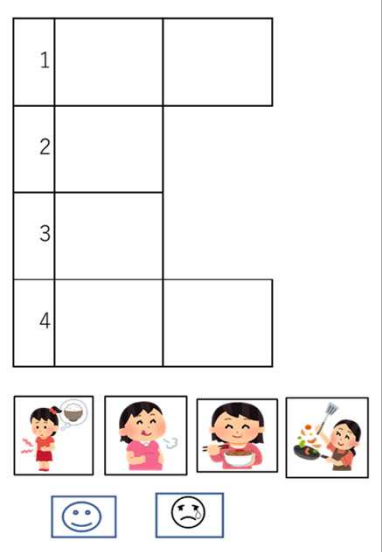




小学部			中学部			
分類	第1段階	第2段階	第3段階	分類	第1段階	第2段階
児童の姿	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、その場面で用いる言葉が存在することや、言葉を使うことで相手の反応に変化があることに気づき始める段階。	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、身近な人からの話し掛けを聞いたり、真似をしたりすることを通して、言葉で物事や思いなどを意味付けたり表現したりするなどして、言葉でのやり取りができてくる段階。	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、言葉を用いて、自分の思いや気持ちを伝えるだけでなく、自分のイメージや思いを具体化したり、相手とそれらを共有したりして、新たな語彙を獲得したり、相手に伝わるように表現を工夫したりする段階。	生徒の姿	身近な事物や人だけでなく、地域や社会における事物や人との関わりが増えてくる。このような生活を通して様々な言葉に触れることで、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いたり、知っている言葉や新たに獲得した言葉の使い方に気を付けることで、様々な事象や気持ちに関して多くの相手と伝え合うことができるようになることに気付いたりする段階。	地域や社会における事物や人との関わりを広げ、繰り返しながら、様々な言葉に触れることで、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いたり、相手や目的に応じて工夫しながら伝え合おうとしたりする段階。
国語科の指導	日常生活で繰り返される出来事や児童の興味や関心のある事柄、人との関わりなどを通して、言葉を用いて、思い描いた事物や事柄を相手と共有し、自分の思いを身近な人に伝えるために必要な国語を身に付けること。	児童が日常生活の中で触れたり見聞きしたりする物事や出来事について表す言葉を繰り返し聞かせたり、遊びや関わりなど児童の興味や関心に応じて言葉で表現したりすることを通して、身近な人とのやり取りを深め、興味や関心を更に広げていくために必要な国語を身に付けること。	経験したことを話したり、共感をもって聞いたり、相手に分かるように工夫して伝えたりすることを通して、児童が言葉によって考えを深め、相手の話を受け止めていくために必要な国語を身に付けること。	国語科の指導	生徒の生活の広がりに伴う事象や人との関わりの中で、言葉で様々な情報を得たり人の思いや考えに触れたりする経験や、自分の思いや考えをまとめたり相手に分かりやすく伝えたりする経験を積み重ねることを通して、日常生活や社会生活に必要な国語を身に付けること。	生徒の生活の広がりに伴う事物や人との関わりの中で、言葉を用いて伝えたいことを明確にして伝えたり、対話の経験を積み重ねたりすることを通して、高等部での職業教育などを意識しながら、将来の職業生活に必要な国語を身に付けること。
聞くこと・話すこと	<p>①  身近な物の名前 指示された物を手にとって教師に渡す。 ★身近な人からの話し掛けに注目したり、応じて答えたりする。</p> <p>②  読み聞かせ 教師と一緒に絵本などを読む。 ★教師の話しかけに応じ、音声で模倣する。</p> <p>③  好きな食べ物 写真カードから好きな食べ物を選んで、発表する。 ★伝えたいことを思い浮かべ身振りや音声などで表す。</p>	<p>④  にいきました。 がたのしかったです。</p> <p>思い出そう 遠足などの写真を見て、体験したことを自分の知っている言葉で表そうとする。 ★体験したことなど伝えたいことを思い浮かべて表す。</p> <p>⑤  クイズ 「果物・赤」や「乗り物・黄色」などを聞いて、カードを選んだり、名詞で答えたりする。 ★簡単な事柄と語句を結びつける。</p> <p>⑥  鬼たいじをしよう 物語の読み聞かせのあと、一場面を取り上げて簡単な台詞を言う。 ★簡単な台詞などを表現する。</p>	<p>⑦  伝えよう 出来事の絵や写真を手掛かりに、経験したことを振り返って発表する。 ★経験したことを思い浮かべ、伝えたいことを考える。</p> <p>⑧  いらっしゃいませ 〇〇ください。 100円です。 ありがとうございました。</p> <p>買い物 お客さん・店員さんの役になってやりとりをする。 ★相手に伝わるよう声の大きさに気を付けて言う。 ★決まった言い方を使う。</p>	<p>⑨  しつもん シート ①好きな食べ物 ②好きな飲み物 ③好きな動物 ④好きな季節 ⑤好きなこと ⑥ほしいもの ⑦いきたいところ</p> <p>インタビュー 友だちと質問をし合う。自分や相手の好きな勉強、嫌いな食べ物など話したり聞いたりする。 ★聞いたことを書き留めたり分からないことを聞き返したりする。 ★伝えたいことを決めて話をする。</p> <p>⑩  いつ どこで だれが なにを どうした かんそうは</p> <p>休みの出来事について話そう メモ用紙の項目にそって、できごとについて発表する。 ★伝わるように順序などを考える。</p> <p>⑪  伝言ゲーム イラストの説明をして相手に伝える。 ★内容の大体が伝わるように順番等を考えながら話す。</p>	<p>今後更新していきます。</p>	

小学部			中学部																																																	
分類	第1段階	第2段階	第3段階	分類	第1段階	第2段階																																														
児童の姿	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、その場面で用いる言葉が存在することや、言葉を使うことで相手の反応に変化があることに気づき始める段階。	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、身近な人からの話し掛けを聞いたり、真似をしたりすることを通して、言葉で物事や思いなどを意味付けたり表現したりするなどして、言葉でのやり取りができてくる段階。	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、言葉を用いて、自分の思いや気持ちを伝えるだけでなく、自分のイメージや思いを具体化したり、相手とそれらを共有したりして、新たな語彙を獲得したり、相手に伝わるように表現を工夫したりする段階。	生徒の姿	身近な事物や人だけでなく、地域や社会における事物や人との関わりが増えてくる。このような生活を通して様々な言葉に触れることで、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いたり、知っている言葉や新たに獲得した言葉の使い方に気を付けることで、様々な事象や気持ちに関して多くの相手と伝え合うことができるようになることに気付いたりする段階。	地域や社会における事物や人との関わりを広げ、繰り返しながら、様々な言葉に触れることで、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いたり、相手や目的に応じて工夫しながら伝え合おうとする段階。																																														
国語科の指導	日常生活で繰り返される出来事や児童の興味や関心のある事柄、人との関わりなどを通して、言葉を用いて、思い描いた事物や事柄を相手と共有し、自分の思いを身近な人に伝えるために必要な国語を身に付けること。	児童が日常生活の中で触れたり見聞きたりする物事や出来事について表す言葉を繰り返し聞かせたり、遊びや関わりなど児童の興味や関心に応じて言葉で表現したりすることを通して、身近な人とのやり取りを深め、興味や関心を更に広げていくために必要な国語を身に付けること。	経験したことを話したり、共感をもって聞いたり、相手に分かるように工夫して伝えたりすることを通して、児童が言葉によって考えを深め、相手の話を受け止めていくために必要な国語を身に付けること。	国語科の指導	生徒の生活の広がりに伴う事象や人との関わりの中で、言葉で様々な情報を得たり人の思いや考えに触れたりする経験や、自分の思いや考えをまとめて相手に分かりやすく伝えたりする経験を積み重ねることを通して、日常生活や社会生活に必要な国語を身に付けること。	生徒の生活の広がりに伴う事物や人との関わりの中で、言葉を用いて伝えたいことを明確にして伝えたり、対話の経験を積み重ねたりすることを通して、高等部での職業教育などを意識しながら、将来の職業生活に必要な国語を身に付けること。																																														
書くこと	<p>① </p> <p>点つなぎ 始点終点を理解して線を指でなぞったり、筆記用具で書いたりする。 ★筆記具に触れ、書くことを知る。</p>	<p>② <table border="1" data-bbox="712 798 949 903"> <tr><td>お</td><td>お</td><td>よ</td><td>ど</td></tr> <tr><td>お</td><td>お</td><td>よ</td><td>ど</td></tr> </table></p> <p>なぞり書き 名前や好きなものなど身近なものの名前のなぞり書きをする。 ★簡単な平仮名をなぞる。</p> <p>③ </p> <p>物の名前 日常生活に必要な単語が分かって、イラストと単語カードを一致させる。 ★物の名前を文字で表すことができることを知る。</p> <p>④ <table border="1" data-bbox="712 1512 1053 1732"> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>ねこ</td><td>いぬ</td><td>くつ</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>くるま</td><td>いす</td><td>みかん</td></tr> </table></p> <p>物の名前 簡単な字を書く。 ★物の名前を文字で表すことができることを知り、簡単な平仮名を書く。</p>	お	お	よ	ど	お	お	よ	ど				ねこ	いぬ	くつ				くるま	いす	みかん	<p>⑤ </p> <p>献立 給食メニューを書く。 ★長音、拗音、促音、撥音などに気を付けて書く。</p> <p>⑥ <table border="1" data-bbox="1202 1354 1498 1732"> <tr><td>なりたいものは</td><td>はっぴょうしょう</td></tr> <tr><td>なまえ</td><td></td></tr> <tr><td>ぼくは</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>になりたいです。</td></tr> <tr><td>りゆうは</td><td></td></tr> <tr><td></td><td>だからです。</td></tr> </table></p> <p>本を読んで考えよう 読み聞かせを聞いて自分の思いや考えを書く。 ★簡単な語句や短い文で自分の思いを書く。</p>	なりたいものは	はっぴょうしょう	なまえ		ぼくは			になりたいです。	りゆうは			だからです。	書くこと	<p>⑦ <table border="1" data-bbox="1736 787 2151 1092"> <tr><td>いつ</td><td>どこ</td></tr> <tr><td>だれと</td><td></td></tr> <tr><td>何をした</td><td></td></tr> <tr><td>どうだったか(気持ち)</td><td></td></tr> </table></p> <p>思い出 行事や生活のことを書いて友だちと伝え合う。 ★行事や生活の中で自分が行ったことから伝えたい事柄を選び、ワークシートに書き出す。 ★相手に伝わるように事柄の順序に気を付けて書く。</p> <p>⑧ </p> <p>文作り イラストを見て、5W1Hを意識して文章を書く。 ★文の構成、語句の使い方に気を付けて書く。</p>	いつ	どこ	だれと		何をした		どうだったか(気持ち)		<p>⑨ <table border="1" data-bbox="2211 766 2537 1155"> <tr><td>排句を作る①</td><td></td></tr> <tr><td>②エピソード</td><td></td></tr> <tr><td>③言葉をあてはめる</td><td></td></tr> </table></p> <p>排句を作ろう 伝えたいことを明確にする。(体験したことや情景などを文章で表す。) ★見聞きしたことや経験したことの中から書くことを選び、伝えたいことを明確にする。</p>	排句を作る①		②エピソード		③言葉をあてはめる	
お	お	よ	ど																																																	
お	お	よ	ど																																																	
																																																				
ねこ	いぬ	くつ																																																		
																																																				
くるま	いす	みかん																																																		
なりたいものは	はっぴょうしょう																																																			
なまえ																																																				
ぼくは																																																				
	になりたいです。																																																			
りゆうは																																																				
	だからです。																																																			
いつ	どこ																																																			
だれと																																																				
何をした																																																				
どうだったか(気持ち)																																																				
排句を作る①																																																				
②エピソード																																																				
③言葉をあてはめる																																																				



小学部			中学部			
分類	第1段階	第2段階	第3段階	分類	第1段階	第2段階
児童の姿	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、その場面で用いる言葉が存在することや、言葉を使うことで相手の反応に変化があることに気づき始める段階。	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、身近な人からの話し掛けを聞いたり、真似をしたりすることを通して、言葉で物事や思いなどを意味付けたり表現したりするなどして、言葉でのやり取りができてくる段階。	身近な人や興味や関心のある物事との関わりを繰り返しながら、言葉を用いて、自分の思いや気持ちを伝えるだけでなく、自分のイメージや思いを具体化したり、相手とそれらを共有したりして、新たな語彙を獲得したり、相手に伝わるように表現を工夫したりする段階。	生徒の姿	身近な事物や人だけでなく、地域や社会における事物や人との関わりが増えてくる。このような生活を通して様々な言葉に触れることで、言葉には、事物の内容を表す働きや、経験したことを伝える働きがあることに気付いたり、知っている言葉や新たに獲得した言葉の使い方に気を付けることで、様々な事象や気持ちに関して多くの相手と伝え合うことができるようになることに気付いたりする段階。	地域や社会における事物や人との関わりを広げ、繰り返しながら、様々な言葉に触れることで、言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いたり、相手や目的に応じて工夫しながら伝え合おうとしたりする段階。
国語科の指導	日常生活で繰り返される出来事や児童の興味や関心のある事柄、人との関わりなどを通して、言葉を用いて、思い描いた事物や事柄を相手と共有し、自分の思いを身近な人に伝えるために必要な国語を身に付けること。	児童が日常生活の中で触れたり見聞きしたりする物事や出来事について表す言葉を繰り返し聞かせたり、遊びや関わりなど児童の興味や関心に応じて言葉で表現したりすることを通して、身近な人とのやり取りを深め、興味や関心を更に広げていくために必要な国語を身に付けること。	経験したことを話したり、共感をもって聞いたり、相手に分かるように工夫して伝えたりすることを通して、児童が言葉によって考えを深め、相手の話を受け止めていくために必要な国語を身に付けること。	国語科の指導	生徒の生活の広がりに伴う事象や人との関わりの中で、言葉で様々な情報を得たり人の思いや考えに触れたりする経験や、自分の思いや考えをまとめて相手に分かりやすく伝えたりする経験を積み重ねることを通して、日常生活や社会生活に必要な国語を身に付けること。	生徒の生活の広がりに伴う事物や人との関わりの中で、言葉を用いて伝えたいことを明確にして伝えたり、対話の経験を積み重ねたりすることを通して、高等部での職業教育などを意識しながら、将来の職業生活に必要な国語を身に付けること。
読むこと	<p>① </p> <p>絵本 教師と一緒に絵本などを読む。 ★教師と一緒に絵本を読み、絵や写真に気づき、注目する。</p> <p>② </p> <p>図鑑 写真などの事物の名前などを読んでもらう。 ★図鑑などを見て知っているものに指を差したり視線を向けたりする。</p>	<p>③ </p> <p>動作や様子を表す言葉 イラストに合う言葉を選ぶ。 ★絵を見て様子をイメージして言葉で表す。</p> <p>④ </p> <p>文を作ろう イラストから読み取って構成する。 ★絵を見て様子をイメージして言葉で表す。</p> <p>⑤ </p> <p>うさぎとかめ 役になりきって演じる中で、登場人物の様子の違いに気付く。 ★二つの場面の絵を見比べて登場人物の様子や行動などの違いに気付いたり、話の内容を読み取ったりする。</p>	<p>⑥ </p> <p>並び替え 本の挿絵を並び替えたり、登場人物の気持ちを考えたりする。 ★易しい読み物を読み、時間的な順序など内容の大体を捉える。</p> <p>⑦ </p> <p>3匹のこぶた 4つくらいの場面を登場人物になりきって演じる。 ★易しい読み物を読み、挿絵と結び付けて登場人物の行動や場面の様子を考える。</p>	<p>⑧ </p> <p>説明書 レシピを読んで調理をする。 ★時間を表す言葉や接続する語句を読み取って内容の大体を捉える。</p>	<p>今後更新していきます。</p>	